

# アジェンダ21すいた

第47号

平成30年7月25日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

## ニュースレター

### CONTENTS

- アジェンダ21すいた定時総会・・・・・・・・・・1
- オオキンケイギクの駆除体験・・・・・・・・・・5
- レジ袋無料配布中止&マイバッグ紹介・・・・・・・・2
- みどりのカーテン講座・・・・・・・・・・6
- 風呂敷包み講習会・・・・・・・・・・3
- エコクッキング・・・・・・・・・・7
- 環境フォーラム・・・・・・・・・・4
- 各種募集・イベント案内・・・・・・・・・・8

### アジェンダ21すいた定時総会を開催！

先般の大阪北部における震災で被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成30年7月1日（日）、千里山コミュニティセンターにおいて平成30年度の定時総会を行いました。正会員61名のうち、書面投票、委任状を含め40名の出席のもと、活発な質疑応答を経て、すべての議案が原案通り可決されました。

第1号議案	平成29年度事業活動報告承認の件
第2号議案	平成29年度収支決算書承認の件
第3号議案	平成30年度事業活動計画承認の件
第4号議案	平成30年度収支予算書承認の件
第5号議案	役員解任の件



懇親会後に記念撮影をしました。

今年度は団体や企業からの補助金も活用しながら、各部会の活動に加え、「温暖化防止」と「食品ロス削減」のフラッグシッププロジェクトに取り組んでいくこととなります。

総会後には、廃棄食材を調理し、食費0円の料理を提供することで、食糧危機に警鐘を鳴らすドキュメンタリー映画「ゼロ円キッチン」（ダーヴィット・グロス、ゲオルク・クッシュ監督、2015、豪）を鑑賞しました。スーパーのゴミ箱、家庭の冷蔵庫、農場、港など、いろいろな場面で捨てられている、まだ食べられる食材。食品廃棄への問題意識を共有することができる興味深い映画でした。

その後は懇親会も行い、会員相互の親睦を深めました。

(エネルギー部会 馬場慶次郎)



議案を定時総会で諮ります。



後藤圭二市長のご挨拶（懇親会）

## 北摂7市3町連携でレジ袋無料配布中止が始まる！（資源部会）

平成30年6月1日から北摂7市3町（豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・箕面市・摂津市・島本町・豊能町・能勢町）で、9事業者114店舗（吹田市内では27店舗）によるレジ袋無料配布中止が始まりました。

参加の食品スーパーはイオンリテール近畿・北陸カンパニー、イズミヤ、関西スーパー、光洋、ダイエー、阪急オアシス、平和堂、万代、ライフコーポレーションで「マイバッグ持参率80%」の目標を掲げています。

2月18日（日）には北摂7市3町の代表者及び各社スーパー代表者による「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定締結式」が万博公園総合案内所前広場にて行われました。ごみ減量と温室効果ガス（CO<sub>2</sub>など）の排出削減を目的としたものですが、このように10自治体が連携して協定を結ぶケースは大阪府内でも初めてのことだそうです。

吹田市では平成21年に「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を設置し、話し合いやマイバッグキャンペーンを続けて来ました。また平成24年からは北摂7市3町に拡大して展開してきました。そもそもは平成17年に開かれた市民・事業者・吹田市行政の3者による意見交換会をきっかけに、実に10年余りの間、地道な活動を続けて来た成果です。



マイバッグ持参にご協力を！



北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定締結式



エコバッグのコレクション！

各スーパーではレジ袋を有料（2～5円）で販売しており、中には紙袋やふろしきを販売する店や、初日にマイバッグを配布した店もあります。どのスーパーも、得られた収益は環境や地域貢献の為に使用することを検討中だそうです。

これに先がけて、キャンペーンを5月にスーパー店頭などで行い、吹田市が調査したアンケートによると、「レジ袋無料配布をやめても利用するスーパーは替えない」と回答した人が91%ありました。いつも行くスーパーを選ぶ基準は品ぞろえや品質で、レジ袋が有料になっても揺らがない消費者が多いということがわかりました。

さて、巷では様々なエコバッグが売られていますが、写真はアジェンダ会員の手持ちのエコバッグです。皆さんはどんなエコバッグをお持ちですか？

（資源部会 水川晶子）

# 「吹田ボランティアフェスティバル」で行った 風呂敷の包み方レクチャー(資源部会)

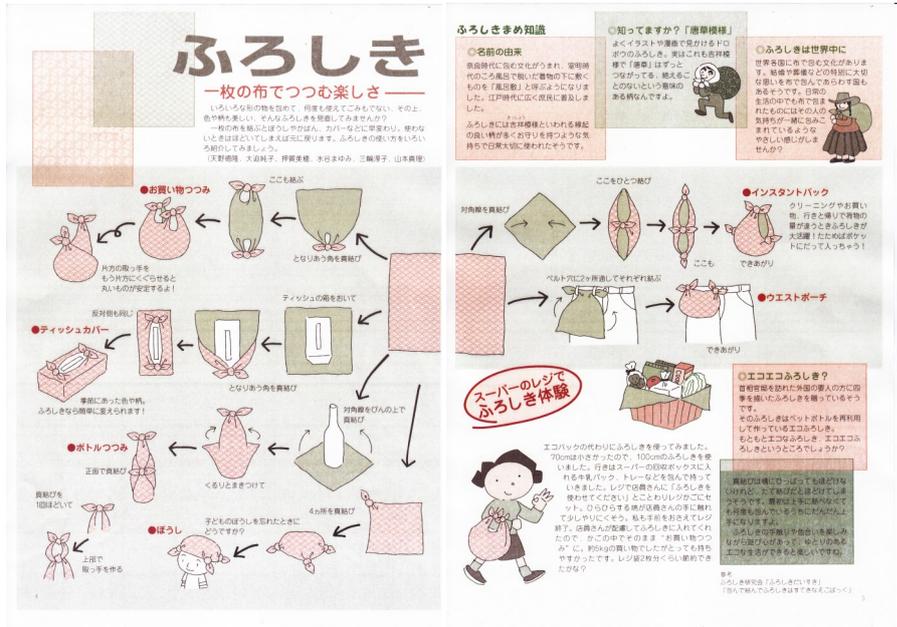
平成30年5月27日(日)、市役所駐車場にて午前10時から吹田ボランティアフェスティバル(吹田ボランティアフェスティバル実行委員会主催)が開催されました。少し風が強かったものの好天のなか、たくさんの人出で賑わいました。

資源部会では風呂敷レクチャーで初めての参加でしたが、若い子たちもたくさん詰めかけてくれて楽しみ喜んでいただけ、時間はあっという間に過ぎてしまいました。

折しも、平成30年6月1日(金)からレジ袋無料配布中止が北摂7市3町と協定を結んだ9事業者で行われるため、マイバッグ持参の啓発の意味も込めての参加でした。

各ブースではファストフードや飲み物、竹細工などの工芸品、バザー品と立ち並び、またステージではダンスや歌が披露されるなどとても盛況で、皆さん楽しまれた様子でした。

当日は77人の参加があり、マイバッグ持参の啓発の推進のPRも大いにできて良かったです。  
(資源部会 伊藤智子)



「ふろしき~1枚の布で包む楽しさ~」包み方のパンフレットも配布しました。



ブース出展しました!



ボールを「スイカ」に見立てて包んでいます☆

## 環境フォーラム～下水汚泥は宝の山?!～(エネルギー部会)

平成30年4月22日(日)に、下水処理とその有効な活用の可能性等に関する「環境フォーラム」が千里山コミュニティセンターにおいて開催されました。

この「環境フォーラム」では、まず、吹田市下水道部水再生室から「私たちと下水汚泥のある暮らし」と題して、その有効活用等について報告がありました。ここでは、下水処理のしくみとその流れについての話があり、その水処理の過程において、発生する「脱水ケーキ」がどのようにして汚泥処理され有機肥料となるのか等についての説明がありました。この有機肥料が広く私たちの暮らしに生かされ役立てられて、しかも、環境にやさしいものであることを実感しました。

次に、大阪大学大学院の黄さんから中国における「中小都市の生活排水システムにおける課題と展望」と題して、水事情と水処理の現状から見える課題、市政公共事業の市場化と下水処理場の建設、運営にかかる問題点等についての講演がありました。

その中で、市政公共事業市場化の課題として、市場資金と市場の競争力を活かした官民連携の経営方式(PPP方式)における市場がもたらす変化に対応した点にあるとの指摘があり、結論として官民の経営管理のあり方を見直す、権限と責任の明確化の必要性、市民の関わり等が重要であるとされています。



吹田市下水道部から



大阪大学大学院工学研究科 上須教授から

最後に、大阪大学大学院工学研究科の上須教授から「下水道処理に関する技術オプションの例示と吹田市での導入可能性」について講演がありました。ここでは、まず、日本の下水処理と下水汚泥の位置づけやその現状課題についての説明がありました。

そして、次に、その処理技術の例示についてバイオガス発電の利用、吹田市における温室効果ガス削減の可能性、下水汚泥をエネルギー利用することでのインフラ維持費削減、南吹田下水処理場における創エネ施設の導入の提案、経済と環境における費用対効果についてなど貴重なお話をいただきました。

私は、この「環境フォーラム」を通して、私たち一人一人が自らのこととしてこの下水汚泥の有効活用について、考えることが必要であることを痛感しました。

(エネルギー部会 岡本榮一)

## オオキンケイギクの駆除体験(自然部会)

新緑のまぶしい平成30年5月20日(日)、自然部会が「特定外来生物の観察・駆除体験」講座を開催しました。特定外来生物については種々の被害が報告されて、吹田市においても、在来植物の生育場所を奪うというオオキンケイギクなどの繁茂が散見されています。花が咲いて、種ができる前のこの時期にしっかり観察し、駆除の方法を学ぼうという企画です。

参加者は19人。はじめに千里ニュータウンプラザで神戸大学名誉教授武田義明先生のお話を聞きました。武田先生は「特定外来植物から吹田の自然を守る会」を主宰され、特定外来生物のオオキンケイギクやナルトサワギクなどの駆除活動を実施されています。特定外来生物は、栽培・飼育・保管・運搬、輸入は原則禁止、譲渡、引渡し、野外へ放つことや植えることは禁止とのこと。これに違反するとなんと、懲役3年もしくは100万円以下の罰金だそうで、ここで会場がどよめきました。



駆除した植物



駆除体験の様子

オオキンケイギクは黄色い花がとってもきれいです。特定外来種で駆除の対象です。その影響について環境省から在来の河原植物が減少・消失している例、半自然農地で1年生植物が減少している例などが報告されているとのこと。吹田でも残っている原っぱに広がって、在来の植物の生育を妨げているのです。吹田ではこのような場所に希少種が発見され、またホタルなどの天然記念物も生息しています。その環境を守ることが大切とのことです。

講義のあと、さっそく町に出てみます。目的地はオオキンケイギクが咲き乱れている高野台ですが、そこまでの道筋にもいたるところに咲いています。工事現場の板塀からはみ出るように咲き、その旺盛な繁殖力に驚かされます。特定外来生物について学んだばかりのメンバーは駆除したくてうずうずしています。

駆除体験の現場は一面のオオキンケイギク！たいへんきれいです。その陰に紫のウツボグサが咲いています。ここは3つの自治会にあらかじめお願いをして駆除体験をさせていただくことになっています。駆除するには根から抜くこと、これを数年にわたって実施することが大切とのことです。今回は駆除の方法を学



自然部会のメンバーたちと講座参加者

ぶ体験なのですが、メンバーはうんうんと力を込めて抜き、たちまち大きなポリ袋4つになりました。「きれいだからと人に分けていた人がいた」「花壇に植えていた人にこれはダメといたら気まずくなった」など参加者の声。みんなが知ることが大切なのです。まだまだ広報が足りないのだと実感しました。これを機会に、身近なところでの駆除活動が活発になればと思いました。(駆除の詳しい方法については自然部会発行の「なぜ大切 生物多様性」リーフレットをごらんください。)

(自然部会 喜田久美子)

## みどりのカーテン講座を開催しました！

(エネルギー部会・自然部会)

平成30年5月26日(土)、男女共同参画センターにて「みどりのカーテン講座」を開催しました。毎年行っている、この「みどりのカーテン講座」ですが、今年初めて参加いただいた方も多くおられました。参加者の熱心な質問を受け感じたことは、まだまだみどりのカーテンの熱は冷めていない、ということでした。

### 実演を交えた講座

ゴーヤなどつる性の植物を窓辺で育て、直射日光の遮断と植物の蒸散作用により夏の暑さを和らげようとする“みどりのカーテン”。その醍醐味はなんといっても、植物を育てる楽しみ、そして、美味しくいただく喜びにあるのではないのでしょうか。

講座では、そのあたりをなるべく分かりやすく説明しました。また、初心者でも簡単にチャレンジできるように、ゴーヤの育て方のポイント、水やりや土・肥料の事など写真を用いて紹介しました。また苗の植付け、ネットの設置の実演をしました。

講座の後の質問では、色々な質問が飛びかいました。初めてやってみようとする方は、確認のように何度も聞いていました。また、昨年挑戦し上手くいかなかった方は、原因の質問をいただきました。答えられる限り一生懸命お答えしました。

### 家庭菜園・地産地消について

みどりのカーテンでゴーヤという野菜を育て、その場でいただくことは、地産地消を考えるいい機会になるのではないかと。また、ゴーヤを育て野菜を育てる楽しさを知ったなら、家庭菜園にも楽しみを広げてみませんか？そんな思いから、今回のサブテーマでもある地産地消、そして家庭菜園の魅力や楽しみ方について、写真や体験談を交えて紹介をしました。

(自然部会 寺西信昭)



ネットの設置方法などをレクチャー



ゴーヤの苗を無料配布



みどりのカーテンに必要なもの



講師によるお話もありました☆

## ゴーヤのエコクッキング（自然部会・NPO法人すいた市民環境会議）

みどりのカーテン講座の一環として、今年はゴーヤのエコクッキングを企画しました。この企画は残念ながら豪雨のために開催できなかったのですが、講師のNPO法人すいた市民環境会議によるエコクッキングをご紹介します。

環境会議のエコクッキングは、水の汚染防止や節水、ごみ減量、エネルギー削減などの生活環境課題に対して、自分ができることは何かを考え、それまでの活動を元に生活の重要な場面である「食」を基本にして組み立てたものです。食材の購入・保存・調理から後始末・廃棄にいたるクッキングに関わるさまざまな場面で環境に配慮した行動を示し、体験するというものです。

みどりのカーテンによって収穫できるゴーヤは、究極の地産地消、自産自消ともいえます。また、夏にうってつけの栄養もあります。今回はこのゴーヤをいかにおいしく、簡単に、省エネルギーで食べきるかをテーマにプログラムとメニューを考えました。一部具体的にご紹介しましょう。

例えば、調理中のごみ減量のために「ごみコンテスト」をします。食材をきちんと使い切って残さいをいかに少なくするかの工夫を各テーブルで競うもので、残さいを水にぬらさないようにしたり、野菜を皮ごと食べたり、ゴーヤの種やワタも食べられることを紹介したりします。

また、スープの調理では、エネルギー消費を抑えるために予熱調理を提案します。予熱調理とは沸騰したら火を止め、予熱を利用して食材に火を通すものでエネルギーの節約になります。後片付けでは、はじめに汚れを拭き取ることを提案しています。これらは家庭でもすぐに簡単に実行できること。環境ばかりか、家計の負担を減らすことにもつながります。

メニューは、いままでの経験と試作を通して組み立てました。ゴーヤを煮たり、揚げたり、炒めたり、生のまま使ったり、パン食に合わせて工夫したものもあって、バラエティに富んでいます。実施できなかったのが本当に残念。ひとつ簡単な「ゴーヤの佃煮」の作り方をご紹介します。ゴーヤがたくさん採れたら作ってみてくださいね。

（自然部会 喜田久美子・NPO法人すいた市民環境会議）

ゴーヤのエコクッキング プログラム

はじめに みどりのカーテンについて

ゴーヤの栄養

エコクッキングとは

ごみ減量（ごみコンテスト）

節水・汚濁防止の方法

レシビ説明

調理

調理方法、予熱調理など工夫して

試食

「いただきます」の意味

片付け

なるべく水を汚さないように、

拭き取り→石けん→水洗い

本日のメニュー

①ゴーヤと夏野菜のポークロール  
（ソース2種）（生野菜添え）

②ゴーヤのそのままフライ

③ゴーヤと夏野菜の元気スープ

④ゴーヤの佃煮

⑤ごはん

⑥ゴーヤジュース

⑦パンにも合うゴーヤいため



みどりのカーテンで収穫したゴーヤ

ゴーヤの佃煮		
材料		作り方
ゴーヤ	1本	①ゴーヤは縦半分に切り、スプーンでワタと種を取り除き、薄くスライスする。 ②①にチリメンジャコ、醤油、酢、砂糖を加え、焦げ付かないように煮詰める。 ③水気がなくなったら火を止めて、かつお節、ごまを加えて出来上がり！
チリメンジャコ	25g	
ごま	25g	
かつお節	5g	
醤油	30cc	
酢	10cc	
砂糖	30g	

# 各種募集・イベント案内

## すいたクールアースウィーク 一緒に省エネしましょう！

地球温暖化対策として、下記の期間に市域全体でライトダウンやキャンドルライトによる営業が実施されます。また、市内の大学や事業者ではペーパーレス会議、公共施設ではお月見イベントが開催されるなど、そのほかさまざまな取組も行われます。

この期間中、吹田市内全域で省エネの暮らしが始まります！みなさんも一緒に、地球温暖化について考えてみませんか？

- ◆とき／平成30年9月22日（土）から9月30日（日）までの9日間
- ◆ところ／吹田市全域 ◆主催／アジェンダ21すいた 共催／吹田市
- ◆問合せ／吹田市環境部環境政策室（TEL:06-6384-1782）へ。



## 「十五夜ムーンライトコンサート」開催！

月夜にアカペラ、ジャズなどの音楽を楽しむCO<sub>2</sub>排出量ゼロのコンサートを開催します！スターバックスによるコーヒーのテイスティング（無料）あり（予定）。満月の夜に、一緒にコンサートを楽しみませんか？ ※雨天中止

- ◆とき／平成30年9月24日（月・祝）午後6時30分から2時間程度（午後6時開場）
- ◆ところ／千里南公園 野外ステージ他
- ◆観覧料／無料 ◆申し込み／不要
- ◆主催／アジェンダ21すいた 共催／吹田市
- ◆問合せ／吹田市環境部環境政策室（TEL：06-6384-1782）へ。

## 映画上映会「地球との約束」、「私たちの未来」を開催

地球温暖化意識啓発アニメの上映会です。手塚プロダクションによるアニメーション制作、小中学生対象です。「ガラスの地球を救え！」プロジェクト（環境省主導）始動です！

- ◆とき／平成30年8月21日（火）  
午前10時30分から午前11時30分まで（午前10時開場）
- ◆ところ／吹田市文化会館（メイシアター）小ホール
- ◆観覧料／無料 ◆申込み／不要 ◆定員／約140名
- ◆主催／吹田市

ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

イベント情報や活動スケジュールなどの情報を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

### アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

#### 【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年  
団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

#### 【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付  
部会活動への参加、主催行事への参加など

### アジェンダ21すいたニュースレター

第47号（平成30年7月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた 事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900

E-mail：env-seisaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』